

# ♡ Heart to Heart ♡

城陽市立北城陽中学校 道徳部

2018/07/20

第2号

## 1 学期の道徳 ～資料を通して考える様々な価値観～

1 学期も様々な資料を使い、道徳の時間を楽しみました。それぞれの学年で、同じ資料を使いますが、出てくる意見は様々。そこに道徳のおもしろさがあります。普段隣にいる仲間が、自分と同じ意見の時もあるし、自分と違う時もあります。その多様性を受け入れて、自分自身の考えの幅を広げることができる楽しさを感じながら、道徳の時間を過ごしてほしいと思っています。さて、今回も生徒の感想を紹介していきます。

### 1 年生 「町内会デビュー」

あらすじ町内会の草刈り作業に家族の代表として参加してほしいと母から頼まれた明。仕方なく参加し、作業を渋々していたが、町内の人々に教えてもらいながら作業を進めていくうちに進んで作業に取り組むようになる。

●大人になるというのは、自分で考えて、自分の意志で行動できるようになることだと思います。明のように、はじめは嫌だと感じていたことをやってみることによって、心が成長することもあると思います。何事も、勇気を出してやってみることが自分自身の心の成長につながることを学びました。

●大人は私たちの未来です。今日の道徳の時間には「大人になるってどういうことだろ?」と考えました。人と関わりながら、めんどくさいことでも、楽しさに変えることも大人の条件なんじゃないかなと思いました。

(1 年生 生徒)

### 2 年生 「仏の銀蔵」

あらすじ銀蔵は、町の人たちにお金を貸しては高い利子をつけて儲けている高利貸し。ある日、借金の証文綴りをカラスに奪われてしまう。町の人々は、大喜びするが、しばらくして「お天道様が見てござる」と証文がないのに、借金を返し始める。

●お天道様とは自分の心だと思います。誰も見ていなくても銀蔵の心はずっと今まで銀蔵のやってきたことを見ているので、やっとその醜い心に気付いたんだと思います。

●ルールは守らなくてはいけないものだけれど、皆の幸せな暮らしを守るためにあるものだと思う。だから、ルールを守ることによって不幸になってしまうようなことがあるのは



少しおかしいと思う。だから最後、銀蔵は金貸しをやめて商いを始めたんだと思う。

もし、自分のやった過ちを誰も見ていなかったなら、ごまかしてしまうかもしれない。けれど、その後は、きっと後悔や罪悪感が残ってしまうと思う。だから、自分に正直に生きることが大切なんだなあと思った。そうすれば、他の誰かに優しくできるようになると思うし、自分自身を信頼できるようになると思う。

(2年生 生徒)



### 3年生

#### 「形見の万年筆」

あらすじ 主人公がドイツを訪れた際、自慢の万年筆を忘れて帰ってきてしまう。サインをしてもらった少年カールは、サインだけを手掛かりに、万年筆を返すことに尽力した。少年カールが大切にしていたこととは何かを考えた。

●カールみたいに相手のことを考えて人のために何かをす

るのは、よりよく生きることだと思いました。人間は相手のことを考えて人のために行動できる動物だと思うので、人間ができる事をちゃんとしたカールはとても人間らしく生きられたんじゃないかなと思いました。私もそこまで人のことを考えて生きられる人間にならないといけないなと感じました。

●今日の道徳は、偏見や自分自身の在り方などを考えさせられました。この話の時期は、第二次世界大戦で、ドイツが敗れた当時でした。やっぱりその当時は、ものすごく貧しくて万年筆というものはとても高価で手が出せませんでした。カールはこれを売って金でも稼げばというふうに考えたんだと思います。けれど、カールは池田さんの万年筆を届けるため、頑張っ探すとしました。そういうところにもカールの人の良さで正直でいたいという自分自身の在り方を持っていました。カールがなくなって残念ですが、カールが貫き通した信念はその形見にあるような気がして、とても大切なものになったと思います。

(3年生 生徒)



## 「特別の教科 道徳」 に向けて

### ◆小中合同研修会実施

本年度から、完全実施されている小学校の「特別の教科 道徳」の現状を聞きながら、中学校も準備を進めています。6月25日(月)には、久津川小と古川小と北城陽中の3校で合同研修会を実施しました。授業参観の後、道徳部においては、授業の進め方、評価の方法などを交流しました。

◆道徳の時間の評価は、学習指導要領より、数値では行わないことになっています。大きなまとまりとして生徒の成長をとらえ、文章で示します。本校では以前から、3学期の通知表の欄に道徳の時間の評価を行っています。評価と聞くと身構えてしまいがちですが、生徒の発言を肯定的に捉え成長を促すような評価を目指しています。生徒が授業で発言したことやワークシートに書いた感想などを大切にしたいと考えています。

◆道徳で学んだことは、生徒の資質や能力を高め、他人と協力してよりよい社会を作り、幸せな人生を送る生きた力になります。学校生活で周りの人たちと良好な人間関係を構築していくためには、相手の立場に立って物事を判断する力が重要です。それはかけがえのない自分とかかけがえのない他人を大切にする事です。それは今後、社会に旅立つ生徒に必要な力であると考えています。